

平成27年度
芦屋市明るい選挙推進協議会
総会資料

日 時 平成27年5月22日（金）午前10時～

総 会 次 第

1	開	会	
2	新委員委嘱式	委嘱状の付与 (資料1)	1
3	選挙管理委員会委員長あいさつ		
4	副会長あいさつ		
5	議	事	
	(1)	平成26年度常時啓発事業の実施結果について(資料2)	2
	(2)	平成26年度選挙時啓発事業の実施結果について(資料3)	4
	(3)	平成26年度会計収入支出報告について(資料4)	5
		監査報告	6
	(4)	新会長・副会長の選出	
	(5)	各専門委員会の割り振り	
	(6)	常任委員及び監査委員の指名	
	(7)	平成27年度常時啓発事業の実施計画(案)について(資料5)	7
	(8)	平成27年度選挙時啓発事業の実施計画について(資料6)	9
	(9)	平成27年度会計収入支出予算(案)について(資料7)	10
6	意	見	交
	換		
7	閉	会	

[資料2]

平成26年度常時啓発事業の実施結果

事業項目	事業内容
1 諸会議の開催	<p>明推協総会 ① 日時 5月19日午前10時～12時</p> <p>常任委員会 ① 日時 3月31日午後 1時30分～3時30分</p> <p>広報委員会 ① 日時 6月 9日午前10時～12時</p> <p>② 日時 9月 3日午前10時～12時</p> <p>③ 日時 12月22日午前10時～12時</p> <p>④ 日時 2月23日午前10時～12時</p> <p>講演会実施委員会 ① 日時 5月30日午前10時～12時</p> <p>② 日時 6月 6日午前10時～12時</p> <p>③ 日時 6月29日午後 3時15分～4時00分</p>
2 広報紙啓発事業	<p>広報委員会委員により広報紙に白ばらだよりを掲載し、選挙啓発を行う。</p>
3 啓発ポスター募集事業	<p>市内の小・中・高校から明るい選挙の啓発ポスターを募集</p> <p>募集期間 5月12日～9月12日</p> <p>応募状況 小学校 8校 217点 中学校 6校 329点</p> <p>高校 3校 25点 合計 17校 571点</p> <p>審査 9月12日に審査を行い(特選2名・入選18名・佳作30名)、 特選及び入選作品20点を2次審査(県)へ送付(県入選2名) 県入選作品2点を3次審査(中央)へ送付</p>
4 明るい選挙推進旬間事業	<p>明るい選挙啓発ポスター展</p> <p>11月11日から11月25日まで市民センター空中通路にて50点展示</p> <p>明るい選挙推進大会(リーダー養成研修)</p> <p>6月29日(日)午後1時30分から市民会館401室にて講演会を開催</p> <p>テーマ 「わかりやすい憲法教材(Kenpo!map) まずは憲法に触れてみよう！」</p> <p>講師 今井 秀智 氏(國學院大学法科大学院教授・弁護士)</p>
5 市民政治学講座(地域別講演会)	<p>公民館と共催 政治学講座「世界はニュースだけではわからない」をシリーズで開催</p> <p>第1回 10月18日 「安倍政権の成長戦略」 講師 安本 寿久氏 (参加者109人)</p> <p>第2回 11月22日 「STAP細胞と研究不正から見る現代の科学」 講師 根本 毅氏 (参加者 89人)</p> <p>第3回 12月 6日 「日本をとりまく国際経済情勢—TPP問題などを中心に」 講師 奥 和義氏 (参加者 91人)</p> <p>第4回 1月24日 「中国の成長戦略と理想と現実」 講師 安室 憲一氏 (参加者 97人)</p> <p>第5回 2月21日 「混迷する国際情勢と日本の立ち位置」 講師 近藤 豊和氏 (参加者 90人)</p> <p>第6回 3月28日 「世界のリスクと日本経済のゆくえ」 講師 滝川 好夫氏 (参加者 82人)</p>
6 新成人啓発事業	<p>20歳の誕生日に届くように星座のイラスト入りバースデーカードと啓発冊子を送付成人式(1月12日)にメッセージチラシと啓発資材を配布</p>
7 阪神7市1町明推協連合会事業	<p>総会 5月26日(芦屋市) 啓発担当職員研修会 2月12日(西宮市)</p>
8 学校生徒会選挙支援事業	<p>宮川小 6月3日, 12月15日 岩園小 12月5日 浜風小 7月8日, 12月8日 精道小 2月20日 潮見中 12月2日</p>

広報紙啓発事業


平成26年度広報あしや掲載記事


26年6月15日号

「いわゆる」ゆるキャラがブームです。みなさんは明るい選挙推進運動にもイメージキャラクターがあるのをご存じですか？

平成十二年に誕生した明るい選挙推進運動の「明」と「推」からつけられました。明るい選挙推進協議会の活動のお手伝いもしています。

明推協の目的は、①選挙違反のないきれいな選挙を行うこと②有権者がこそって投票に参加すること③有権者がふだんから政治と選挙に関心を持ち、候補者の人物や政見、政党の政策などを見る眼を養うことです。選挙ポスターやパンフレットなどで、めいめいくんを見つめることも多いと思います。めいめいくんが、有権者やその家族に親しまれ、背中の羽で目標に近づくことを願っています。





白バラ だより

問い合わせ 選挙管理委員会
☎38-2100

い


26年10月15日号

選挙のときにあなたの手の中にある一枚の投票用紙。それはあなたがどのような世の中を望んでいるかを反映させることのできるチケットです。現在では日本国民は20歳になると選挙権を得ることができます。しかし選挙権は最初からあなたの手の中にあつたわけではありません。

日本の選挙制度が作られたのは明治時代です。当時、選挙権は一定の税金を納める男子に限られていました。大正時代に納税要件がなくなり、昭和20年に20歳以上の男女みんなが選挙権を持つようになりました。


有権者が進んで投票に参加し、私たちの意思が正しく政治に反映される選挙の実現のために、全国の「明るい選挙推進協議会」があります。

本市でも昭和27年に芦屋市公明選挙推進連盟が結成されました。昭和33年ごろから50年代にかけて、市民の協力によりベットの大型犬に投票日などを書いたタスキを着せた「ワンワンパレード」、ゆかた姿で「七夕パレード」、市内小学生児童の音楽隊つきのパレードなどが実施され、選挙啓発に役かっていたこともあるそうです。



白バラ だより

問い合わせ 選挙管理委員会 ☎38-2100



昭和49年 ゆかた姿で七夕パレード

s 27年2月15日号

私たちの生活はどこかで政治につながってくるものです。どんなきつかけでも構わないので、政治に関心を持ち、白覚を持って選挙に臨んでもらいたいです。

昨年12月の衆院選の投票率は戦後最低の52.6%でした。総務省の資料によると20歳代の投票率は37.9%、60歳代が71.9%と大きな差がありました。

若年層の投票率を上げるにはどうしたらよいでしょうか。愛媛県の松山大学ではおとし7月の参院選で国内初の大学内期日前投票所が設置され20歳代前半の投票率が前回を上回る結果でした。一方、神奈川県では同参院選に合わせて全ての県立高校で模擬投票を実施しました。

生徒たちは事前学習として選挙の仕組みや各政党の公約などを学習し、本番さながらの投票でした。誰に投票しようか考える中で、ニュースを見たりして知識を深める効果がありました。



白バラ だより

問い合わせ 選挙管理委員会 ☎38-2100



[資料3]

平成26年度選挙時啓発事業の実施結果

平成26年12月14日執行 衆議院議員総選挙 街頭啓発実施日12月6日

事業項目	事業内容
1 掲示・掲揚物による啓発	<ul style="list-style-type: none">・横断幕, 立看板, のぼりを市内各所に掲示*・公用車にボディパネルを掲示・啓発ポスターを公共施設, 掲示板に掲示
2 印刷物による啓発	<ul style="list-style-type: none">・広報あしやに啓発記事を掲載・啓発チラシを郵送で配布・公共施設の窓口でチラシを配布
3 街頭啓発	<ul style="list-style-type: none">・J R 芦屋駅周辺において投票参加の呼び掛け, 啓発資材の配布
4 放送等による啓発	<ul style="list-style-type: none">・広報車で市内を巡回しながら投票日の周知, 投票参加を呼び掛け・芦屋市ホームページに掲載

[資料4]

平成26年度自主会計収入支出報告

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(収入)

単位：円

項目	収入額	内訳
繰越金	59,605	平成25年度からの繰越
協力金	50,000	衆議院議員総選挙協力金
7市1町連合会	40,000	講演会講師謝金(40,000)
雑入	10	預金利子
合計	149,615	

(支出)

単位：円

項目	支出額	内訳	
事業費	45,526	常任委員会費 会議費	0
		選挙時啓発委員会費 会議費	0
		街頭啓発費	0
		啓発パネル費	5,026
		講演会実施委員会費 講師謝礼	40,000
		会議費	0
合計	45,526	駐車場費	500
		広報委員会費 会議費	0
		会計監査費 会議費	0

収入149,615円 — 支出45,526円 = 残高104,089円

監 査 結 果

本日、平成26年度芦屋市明るい選挙推進協議会の会計について、
監査を行いました。

監査は、芦屋市明るい選挙推進協議会規約第7条第4項の規定に
基づき、会計帳簿・その他の関係書類及び銀行預金等照合検査した
ところ、それぞれ符合して正確であった。

平成27年5月22日

監査委員 委 員 名

委 員 名

[資料 5]

平成 27 年度常時啓発事業実施計画（案）

事業項目	実施時期	対象者	内 容
1 諸会議の開催	4 月～3 月	明推協委員	総会の開催 常任委員会・専門委員会の開催
2 広報紙啓発事業	4 月～3 月	一般市民	市広報紙による啓発 (白ばらだより) 年 3 回
3 啓発ポスター募集事業	5 月～9 月	市内小・中・高校生	・ 明るい選挙の啓発ポスターを募集 ・ 明るい選挙啓発ポスター展 (啓発ポスター応募入選作品を市民センターに展示)
4 推進大会事業	未定	一般市民	明るい選挙推進大会を開催
5 市民政治学講座(地域別講演会事業)	10 月～3 月	一般市民	政治学講座「世界はニュースだけではわからない」をシリーズで開催(公民館と共催)
6 議会の傍聴	6 月～3 月	明推協委員 一般市民	市議会本会議の傍聴
7 新成人啓発事業	4 月～3 月 1 月 14 日	新成人	・ 誕生日に「バースデーカード」と「啓発冊子」を送付 ・ 成人式に啓発資材を配布
8 阪神 7 市 1 町明推協連合会事業	4 月～3 月	選管委員 明推協委員 一般市民	総会, 会議等に参加 地域別講演会, 地域リーダー養成研修の実施 啓発資材の配布
9 学校生徒会選挙支援事業	4 月～3 月	市内小・中・高	学校の生徒会選挙における投票箱・記載台等の貸出を行い実際の公職選挙に近い形の選挙を行う。有権者となる前に選挙の大切さを学び若年層の政治・選挙への関心の向上を図る。
10 明るい選挙推進事業	11 月～3 月	明推協委員	明推協委員の資質向上及び明推協の組織・活動活性化を図る。

平成28年第2回定例会会議予定表

月日	曜日	会 議	摘 要
6月10日	金	本会議	開会，議会役員選挙，常任・議会運営委員会委員の選任，議案提案説明等
6月11日	土		
6月12日	日		
6月13日	月	建設公営企業常任委員会	
6月14日	火	民生文教常任委員会	
6月15日	水	総務常任委員会	
6月16日	木		
6月17日	金	議会運営委員会	
6月18日	土		
6月19日	日		
6月20日	月	本会議	一般質問
6月21日	火	本会議	一般質問等
6月22日	水	本会議(予備日)	
6月23日	木	委員会(予備日)	
6月24日	金		
6月25日	土		
6月26日	日		
6月27日	月		
6月28日	火		
6月29日	水		
6月30日	木	議会運営委員会	
7月1日	金	本会議	委員長報告，討論，採決，閉会

※本議会・委員会を傍聴するには、傍聴券が必要です。

本会議

傍聴席は65席あります。

傍聴券には、会議が開かれる時刻（通常午前10時）の30分前に、市役所議場の傍聴席入口（南館4階）で先着順に渡される一般傍聴券（30枚）と、各会派に割り当てられている議員紹介傍聴券等（35枚）があります。

委員会

大会議室又は委員会室で開きますが、大会議室は18人、委員会室は12人に限り傍聴できます。原則として議員の紹介で傍聴する制度をとっており、事前に議員に申し出て傍聴券（紹介傍聴券）を入手します。又、議員が使用しない傍聴券を会議開始15分前から市議会事務局で先着順に渡しています。

[資料5]

平成27年度選挙時啓発事業の実施計画（実施済）

平成27年4月26日執行 芦屋市長・市議会議員選挙
街頭啓発実施日4月18日

事業項目	事業内容
1 掲示・掲揚物による啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・横断幕，立看板，のぼりを市内各所に掲示 ・公用車にボディパネルを掲示 ・啓発ポスターを公共施設，掲示板に掲示 ・幼稚園児作成による啓発パネルの掲示（9幼稚園） ・<u>阪急バスのフロントに掲示</u>
2 印刷物による啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・広報あしやに啓発記事を掲載 ・啓発チラシを郵送で配布 ・公共施設の窓口でチラシを配布
3 街頭啓発 (実施日は27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・JR芦屋駅周辺において投票参加の呼び掛け，啓発資材の配布（<u>明るい選挙キャラクターめいすいくんの着ぐるみを使用</u>）*
4 放送等による啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・広報車で市内を巡回しながら投票日の周知，投票参加を呼び掛け ・芦屋市ホームページに掲載

*



[資料 7]

平成 27 年度自主会計収入支出予算 (案)

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)

(収 入)

単位：円

項 目	収 入 額	内 訳
繰 越 金	104,089	平成 26 年度からの繰越
協 力 金	50,000	県議選・市長・市議選協力金
7 市 1 町連合会	40,000	推進大会講師謝金(40,000)
雑 入	10	預金利子
合 計	194,099	

(支 出)

単位：円

項 目	支 出 額	内 訳
事 業 費	95,000	常任委員会費 0
		選挙時啓発委員会費 15,000
		講演会実施委員会費 80,000
		広報委員会費 0
予 備 費	99,099	
合 計	194,099	

参考：市の直接経費として、推進大会講師謝金 20,000 円を別途予算化。